

《費用対効果分析説明資料》

事業名	地すべり対策事業	地区名等	温湯
-----	----------	------	----

【費用対効果の算定内容】

1. 費用対効果の算定根拠

算定については、「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」(平成12年1月 建設省砂防部)によった。本マニュアルにおいては、便益(B)は被害軽減便益・人命保護便益とし、整備に係る事業費を費用(C)として評価するものである。

2. 事業全体の投資効率性

1) 地すべり対策に要する費用

総費用(C)=1,653 百万

総費用算出根拠

地すべり対策に要する費用(事業費)を年度別に設定し、現在価値化したもの。

事業費	1,800 百万円
現在価値	1,653 百万円

2) 地すべり対策による便益

総便益(B)=11,832 百万

総便益算出根拠

地すべりによる被害が被害想定区域内に及ぶものとして、その一般資産被害軽減額・公共土木施設等被害軽減額・人的被害軽減額等を算出し、それぞれ現在価値化したものの合計を総便益とする。なお、便益は事業投資額に比例して事業初年度から発生し、整備後50年間発生するものとする。

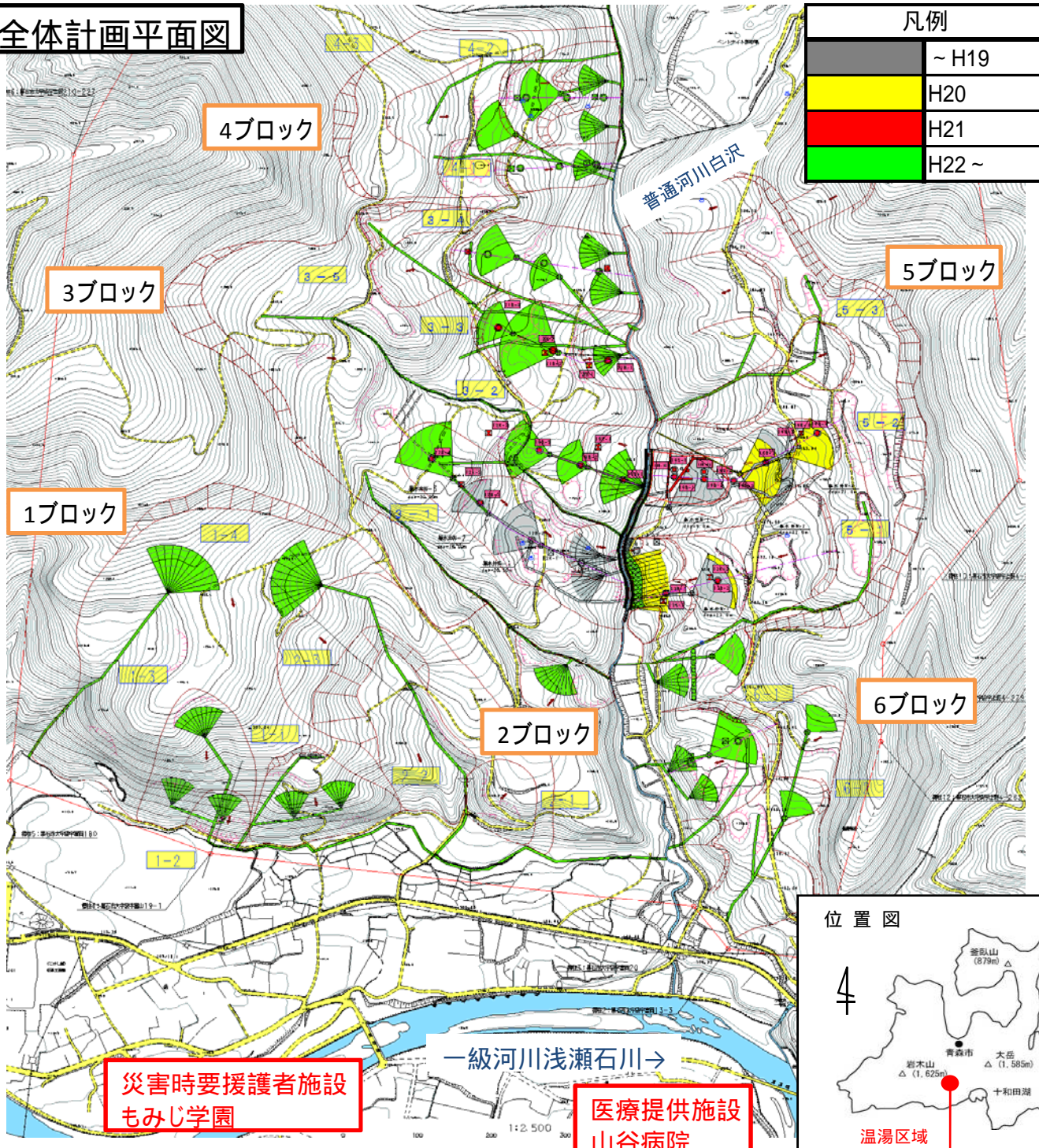
(単位:百万円)

一般資産被害軽減額			公共土木施設等被害軽減額		人的被害軽減額	合計
人家	事業所	耕地	道路	公益施設	人的被害	
5,537	1,393	217	1,647	1,574	1,464	11,832

【費用対効果分析の結果】

B / C (再評価時点) = 11,832 百万円 / 1,653 百万円 = 7.16

全体計画平面図



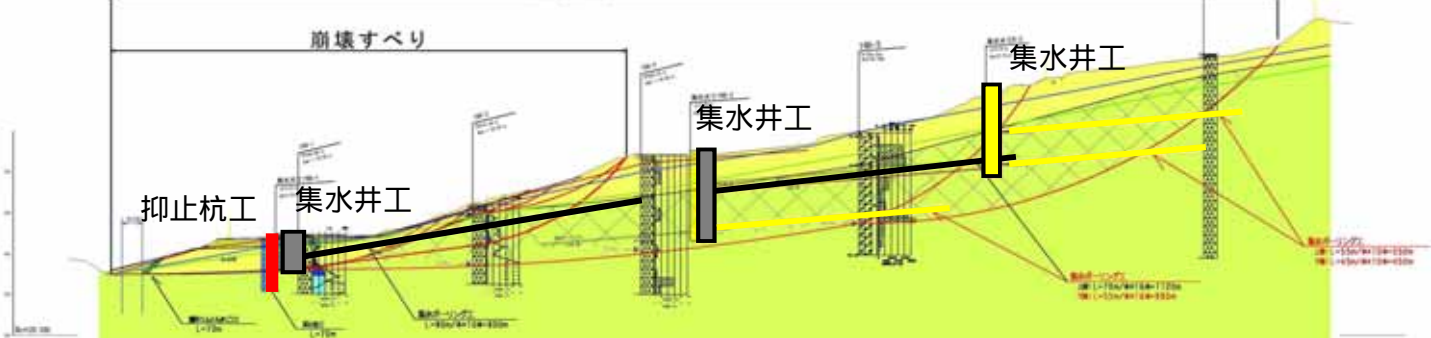
凡例	
	~ H19
	H20
	H21
	H22 ~



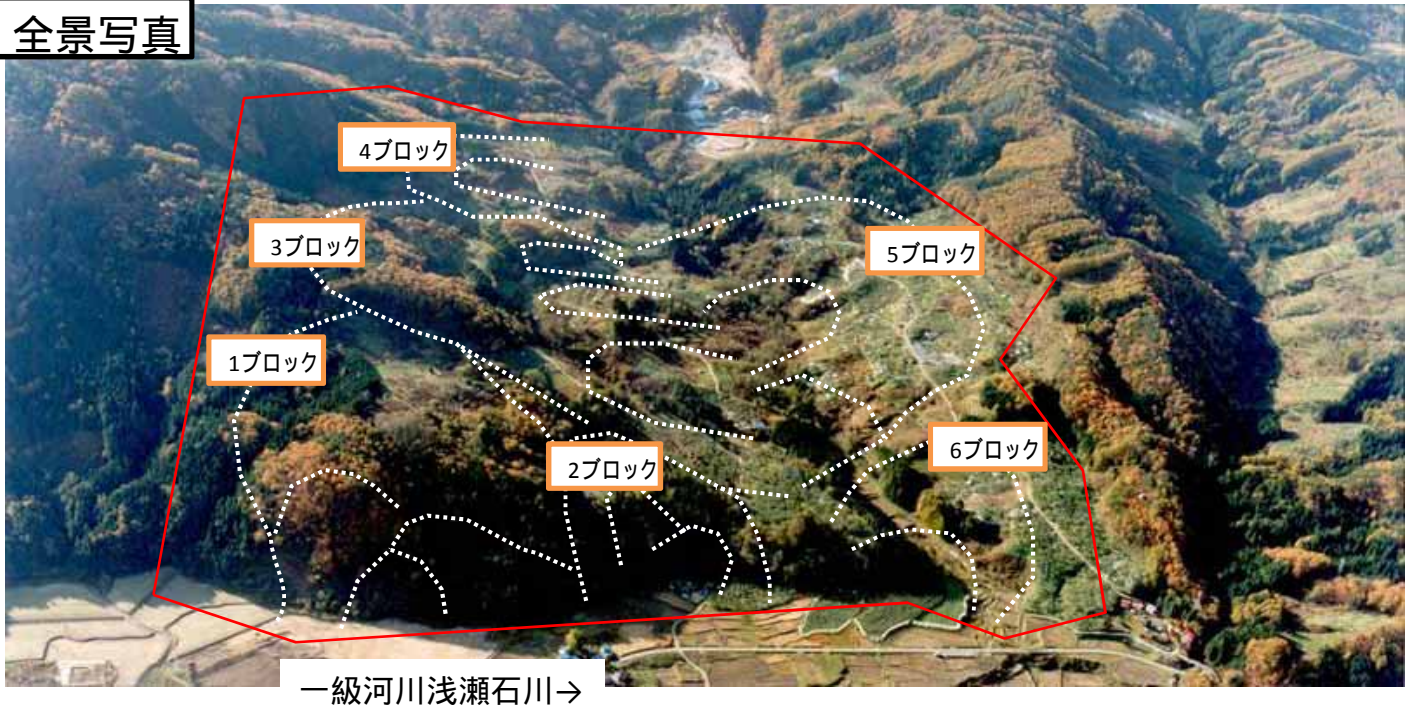
標準断面図

5-2ブロック

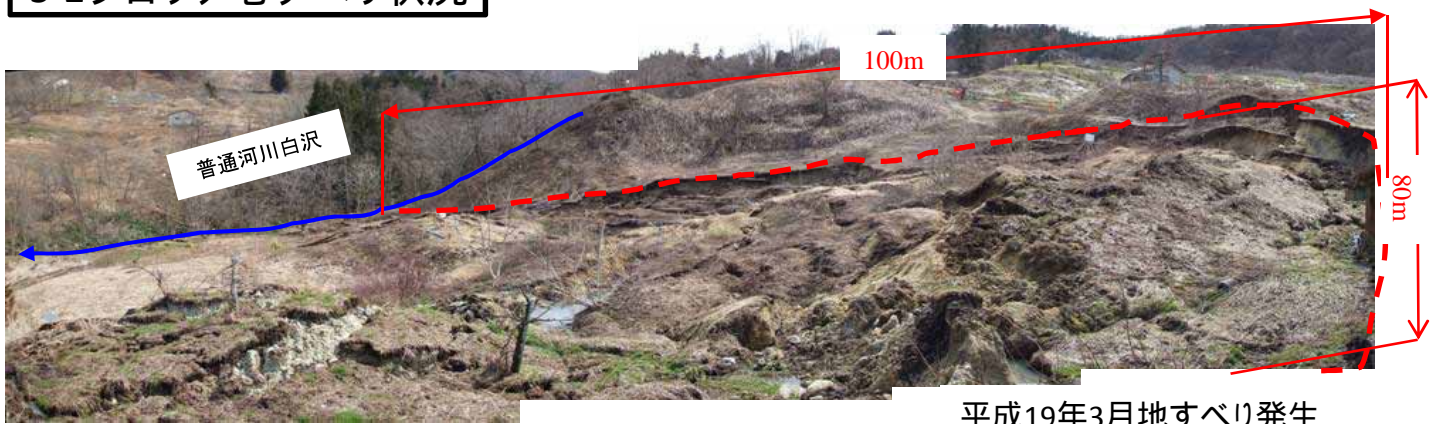
主すべり



全景写真



5-2ブロック地すべり状況



対策工実施状況

5-2ブロック集水井工



5-1ブロックアンカー工・法枠工

